

東北地方太平洋沖地震での支援  
— 会員施設（恵愛病院）への物資輸送のための職員派遣— ～第2陣～

災害対策本部

平成23年3月29日（火）

派遣職員：山西事務局長、森下部長、木葉部長、龍野常務理事

6：40～ レンタカー3台（1BOXカー）に荷物を積める

\* 当日出勤のスタッフも早くに出勤をして荷物詰めを手伝ってくれた。

< 飲食類 >

水34箱、カレー缶（大）7個、さば缶3箱、いわし缶3箱、やきとり缶7箱  
色々缶詰1箱、ラジオ&電池1箱、レトルトおかゆ7箱、インスタントラーメン16箱  
カイロ6箱、ジュース16箱、レトルトカレー7箱、パン5箱、衣類6箱、煮物2箱  
レトルトスープ&みそ汁&ごはん10箱、

< 医療備品等 >

マスク20箱、テープ1箱、アルコール綿1箱、ディスポ手袋4箱、

< 生活用品 >

軍手1箱、トイレトペーパー11箱、オムツ4箱、箱ティッシュ5箱、生理用品5箱  
石鹸2箱、タオル1箱



8：08 品川チャナビル出発  
8：20 港南小学校前交差点通過  
8：22 芝浦入口を通過  
8：25 浜崎橋 JCT 通過  
8：31 江戸橋 JCT 通過  
8：38 堀切 JCT 通過  
8：43 江北 JCT 通過  
8：55 川口 JCT 通過  
9：35 佐野 SA 休憩（13分）  
10：45 那須高原 SA 森下 → 木葉 運転交代  
11：18 菅生 PA 給油  
11：48 安達太良 SA にて福島県支部長大堀さんと合流

\* りんご箱6箱、ナースシューズ、白衣、エプロン等の提供物資を受け取る  
木葉 → 森下 運転交代



\*塩釜市内は信号機が機能していないところも多い

- 1 2 : 4 0 村田 JCT 通過
- 1 3 : 0 0 泉 PA \*交通経路確認
- 1 3 : 0 5 富谷 JCT 通過
- 1 3 : 1 0 利府しらかし台 IC にて下りる 6 7 0 0 円
- 1 3 : 3 0 昼食休憩
- 1 4 : 0 0 再出発
- 1 4 : 2 0 松島海岸駅前通過
- 1 5 : 4 5 恵愛病院到着



病院の入り口



病棟の前には津波で車が流されてきた

\*荷物は、食料品と衛生材料は病院建物の2階へ、その他は別建物の倉庫内へ搬送する。

<精神科認定看護師の内田さんに話を聞きながら病院の一階を見学>

地震時の様子は、地震はすごく揺れたので、災害マニュアルに従い患者全員一旦1階のプレイルームに集めて、地震の揺れがおさまるのを待った。揺れが止まったので、次の誘導をしようと外をみたら、すでに津波が近づいてきていた。慌てて、患者を2階へ誘導。1人で行ける方は自身で2階へ避難。介助を要する患者さんはスタッフが介助等をして誘導する。しかし、2~3分後には1階部分が1メートル以上浸水。同時に2階へ続く階段の防火扉が水圧で閉じられた。よって、1階に患者と看護師数名が取り残されたまま水域は上がった。自身で上部の柱に捕まる人、患者さんを抱きかかえて柱に捕まる職員、1人で困難で職員も手が回らなかった人もいた。

水域が引き、防火扉が開けるようになって、残りの患者と職員を救助。そのときに、助けられなかった患者さんの死体を数十名発見した。1階に取り残された職員は全員無事であったが、自宅が流されて亡くなった方や親族が不明の方などが数名いる。また、夜勤終了後に自宅にも戻っていた職員3名が、地震発生後に救護のために病院へ向かう途中津波に飲み込まれてしまった。2名は水死体で発見。残り1名は未だ行方不明。

現在、家が流されてしまった職員は病院に泊まりこみで、まだ受け入れ先の決まっていない二十数名の患者さんの援助等を行っている。通っている職員ももちろんいる。

みんなで患者さんを守るために頑張る！！といわれた。

今後は、ここにいる患者さんの受け入れが決まれば移送して、病院は閉鎖するだろうとのこと。  
多くの会員の皆様にもこの状況を是非伝えてほしいといわれていました。

16:45 部長へ挨拶  
16:50 集合写真撮影  
17:00 恵愛病院出発  
17:50 三陸自動車道入る  
18:50 利府 JCT 通過  
19:00 富谷 JCT 通過  
19:05 泉 PA  
19:37 村田 JCT 通過  
20:00 国見 SA 夕食  
\* 会長より電話あり  
20:50 再出発  
安達太良 SA にて給油  
22:10 那須 IC 通過  
22:30 大谷 SA 森下 ⇒木葉運転交代  
23:50 それぞれの方向へ

無事、帰還。

記録：木葉

恵愛病院の職員の皆さまと一緒に

